

総合型選抜 (自己アピール方式) (オープンキャンパス進路探究方式) (離島特別方式)

専願

入学者選抜詳細

総合型選抜(専願)(自己アピール方式/オープンキャンパス進路探究方式/離島特別方式)

1 日程

出願期間	試験日	試験会場	合格発表日	一次手続き (入学金納付期限)	二次手続き (学納金等納付期限)
9月25日(金) ～10月6日(火)	10月17日(土)	広島(本学)	11月2日(月)	12月10日(木)	2027年 3月24日(水)

2 募集人員

※各日程の志願者数・受験者数・合格者数・平均得点率はP.56～59に掲載しています(過去2年分)。

教育学科 初等教育専攻	教育学科 中等教育専攻	人間福祉 学 科	心理学科	人間栄養 学 科	グローバルコミュニケーション 学 科
12名	3名	9名	9名	9名	9名

3 出願資格

自己アピール方式・オープンキャンパス進路探究方式

- ①本学の「アドミッション・ポリシー」並びに志望学部・学科の「アドミッション・ポリシー」を十分に理解し、志望学部・学科で学びたいと強く希望している者(※アドミッション・ポリシーは、本冊子P.1でご確認ください)
- ②次のいずれかに該当する者で、入学を希望する学部・学科での学修に強い意欲を持ち、かつ、合格した場合本学に入学することが確実な者
 - ・高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び2027年3月卒業見込みの者
 - ・通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2027年3月修了見込みの者
 - ・学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者

離島特別方式

自己アピール方式・オープンキャンパス進路探究方式の出願資格を満たし、かつ、出願時点で離島に居住している者(※離島：国土交通省が定める離島振興法による離島振興対策実施地域(沖縄・奄美・小笠原を含む)。
対象地域などの詳細は、広島文教大学入試広報課(0120-75-3191)までお尋ねください。

4 入学検定料

20,000円 入学検定料の他に、インターネット出願システム手数料900円が必要となります。

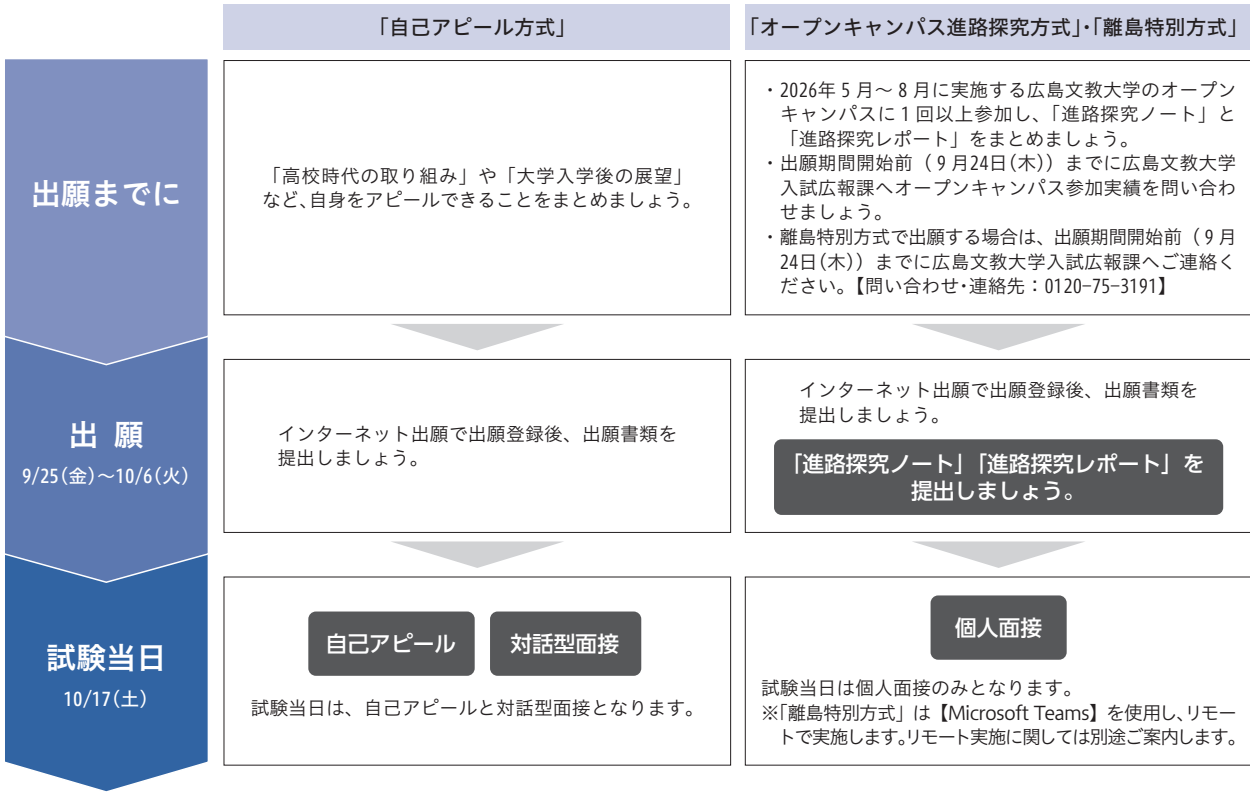
5 出願書類

- ①入学志願票・写真票
- ②志望理由書
- ③調査書(文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したものに限る)
- ④進路探究ノート・進路探究レポート(オープンキャンパス進路探究方式・離島特別方式)

6 試験方法/配点と総点

各試験方式による『自己アピール』『対話型面接』『進路探究ノート・進路探究レポート』『個人面接』『提出書類』の内容から総合的に判定します。

試験方式	自己アピール	対話型面接	進路探究ノート・ 進路探究レポート	個人面接	調査書	総点
自己アピール方式	100	100	—	—	50	250
オープンキャンパス進路探究方式	—	—	150	50	50	250
離島特別方式	—	—	150	50 (リモート)	50	250



7 試験当日のスケジュール

〈自己アピール方式〉

時間	内容(全学部・学科共通)	
13:00～	受付開始	
13:50	受験生入室完了	
14:00～	自己アピール 対話型面接 (一人20分)	受験生1人、面接官2名による自己アピールと対話型面接です。20分の時間の中で、高校時代の取り組みをもとにした自己アピールと志望理由や大学入学後の展望などを確認する対話型面接を実施します。 ※自己アピールでは、資料の持込みやタブレットの使用を認めず。 ※対話型面接中は資料やメモなどを見ることはできません。

〈オープンキャンパス進路探究方式〉〈離島特別方式〉

時間	内容(全学部・学科共通)	
9:00～	受付開始	
9:50	受験生入室完了	
10:00～	個人面接 (一人10分)	受験生1人、面接官2名による個人面接です。10分の時間の中で、志望理由、将来展望などについて問われます。 ※面接中は資料やメモなどを見ることはできません。 ※「離島特別方式」はリモートで実施します。

8 入学前学習

合格者には「入学前学習」に取り組んでもらいます。本学の「入学前学習」は、高等学校等での学習と大学での学修の接続をはかるとともに、入学後の学びへ向かって自ら学ぶ姿勢を養うことを目的としています。また、2027年2月13日(土)に大学での学びへの心がまえやつながりを作る入学前イベント「プレステューデントデイ」を実施します。いずれも詳細は、合否通知書に同封する資料でお知らせします。

9 自己アピール方式について

「自己アピール」に関する説明

高等学校等の時代に力を入れて取り組んだことについて、「自己アピール」とその内容に関する「質疑応答」をおこないます（7分程度）。

「自己アピール」では、取り組んだ活動の内容だけでなく、どのように取り組んだのか、その経験が大学での学修や将来目標とどのように結びつくのか、などについて3分以内で発表してください。

「質疑応答」では、評価の観点①～③を確認するための質問に回答してもらいます。

「自己アピール」の評価のポイント

①活動に対する意欲・主体性

活動に自分から参加している、目的意識・課題意識をもっているなど主体性をもって意欲的に取り組んできたかが評価のポイントになります。

②活動における コミュニケーション力・協働性

その活動において、目標達成、あるいは課題解決に向けて、外的資源（教師、友人、インターネット、本など）をどのように活用しながら取り組んできたかが評価のポイントになります。

③本学教育への適性・将来性

活動の経験から得た学びを大学での学修や将来目標の実現にどのように結び付けているのかが評価のポイントになります。

「自己アピール」の対象となる活動

高等学校等の時代に力を入れて取り組んだ活動であれば、何でも対象です。高等学校等の校内や、地域活動や個人での活動など校外でのあらゆる活動が評価対象となります。例えば、授業で行った探究活動（課題研究）や、資格取得・検定合格のための取り組み、部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、各種大会・コンクールへの参加、留学・海外経験、メディア活動などです。

資料等の持込み、およびタブレット等の使用について

自己アピールのために資料等を持ち込んでもらってもかまいません。持ち込んだ資料を面接官に提示する場合は、字の大きさなどに注意してください。面接官に渡す場合は、面接官2名分の資料等を準備し、「自己アピール」開始時に提出してください。なお提出された資料等は返却しません。

また、写真等の画像や音声、動画を提示するためにタブレット等を使用してもかまいません。ただし、音声や動画の提示は30秒以内とします。なお、スクリーン等への投影には対応できませんので、ご注意ください。

なお、資料等の持込みやタブレット等の使用が評価に影響することはありません。

<タブレット等の使用における注意点>

- ・タブレット等を使用する場合、オフラインの状態で使用してください。試験会場では、通信機能（インターネットへの接続等）を使用できません。
- ・試験会場では、録音・録画機能は使用しないでください。
- ・試験会場の備品等（プロジェクターやスクリーン等）は使用できません。
- ・試験会場のコンセント等を使用して充電することはできません。あらかじめ充電は済ませておいてください。なお待機時間であれば、持参したモバイルバッテリー等を使用してもかまいません。
- ・タブレット等で音声や動画がうまく再生できない場合、面接官等が解決の手伝いをすることはできません。どうしても音声や動画が再生できない場合には、別の方法で自己アピールをおこなってください。なお、音声や動画がうまく再生できない等のトラブルが発生したとしても、試験時間の延長はありません。
- ・控室や待機室で音声や動画の確認をすることはできますが、その際はイヤホン等を使用するなど、他の受験者の邪魔にならないようにしてください。

11 「進路探究ノート」と「進路探究レポート」の詳細

総合型選抜〔専願〕オープンキャンパス進路探究方式と離島特別方式の志願者が提出する「進路探究ノート」と「進路探究レポート」は、次の観点で評価しますので、記入にあたっては以下の内容をよく確認しておきましょう。

概要

1. 各学科・専攻が示したテーマ例を参考にして、自分のテーマ（進路に関わる問い）を設定する。テーマ例をそのまま使用してもかまいません。
 2. テーマ（問い）に対する自分の考え（結論）をまとめるにあたり、オープンキャンパスを活用して情報収集（インタビュー調査）し、その記録を「進路探究ノート」に記入する。
 3. テーマ（問い）に対する自分の考え（結論）を「進路探究レポート」として800～1200字でまとめる。
- ※「進路探究ノート」と「進路探究レポート」はパソコン等でも作成できます。
※「進路探究ノート」と「進路探究レポート」の様式は本冊子巻末に綴込んでいます。

■ 進路探究ノート

1. 内容

進路に関するテーマを自分で設定し、そのテーマについて調べるために、オープンキャンパスに参加してもらいます。そして、オープンキャンパスで学生や教員に質問をし、得られた情報を「進路探究ノート」に記録していきます。

2. 作成手順

- ① 各学科・専攻が示したテーマ例を参考にして、自分のテーマ（進路に関わる問い）を設定し、「テーマ」欄に記入してください。
※テーマ例をそのまま使用しても途中で変更してもかまいません。
- ② オープンキャンパスで学生や教員に聞きたいことを事前に考え、「質問」欄に記入してください。
※学生や教員と話をした後に入力してもかまいません。
- ③ オープンキャンパスに参加し、学生や教員に質問してください。
※「先輩や先生と話そう！おしゃべり相談会」を活用してください。
※「回答者」欄への記入は、質問をした学生または教員にお願いしてください。
- ④ 学生や教員に聞いた内容を「回答内容」欄に記入してください。

3. 作成する際の注意点

- ・「進路探究ノート」は質問をした学生・教員1人につき1枚ずつ作成してください。
- ・「進路探究ノート」の用紙は、オープンキャンパスの入試相談ブースや各学科の相談ブースにも準備していますので、必要な方は声をかけてください。また、本冊子巻末に綴込んでいる用紙をコピーしてもらってもかまいません。

4. 評価のポイント

自分が設定したテーマについて調べるために積極的に情報を集めようとしたことが確認できるかどうか、知りたい情報を聞き出せるよう質問を工夫しているかどうか、「作成手順」や「作成する際の注意点」に従って作成されているかどうか、といった観点から評価をします。

■ 進路探究レポート

1. 内容

自分が設定したテーマ（問い）に対する自分の考え（結論）を、オープンキャンパスに参加して得られた情報などを引用しながら800～1200字でまとめていきます。

2. 作成する際の注意点

- ・どのようなテーマを設定したのかが分かるようにしてください。
- ・オープンキャンパスでの学生や教員の話を用いる場合、①いつ、②誰が、③どのような話をしたのか、が分かるように記述してください。その際、学生や教員の所属や学年は不要です。ただし、複数の学科の学生や教員の話を用いる場合は、必要に応じて記述してください。
(例) ○○さんに□□学科の特徴について尋ねると、……と答えてくれた（7月5日）。
(例) □□学科には、……という特徴があり（○○さん、7月26日）、さらに、……という魅力もある（△△先生、8月8日）。
- ・進路探究ノートに記述した全ての内容を含める必要はありません。自分の考えを説明するために必要な情報を取捨選択してください。
- ・オープンキャンパスで聞いた話以外の内容（たとえば、HPで調べたことや他大学のオープンキャンパスに参加して得た情報など）を引用してもかまいません。その際は、本学のオープンキャンパスで得られた情報ではないことが分かるように記述してください。

3. 評価のポイント

自分が設定したテーマに対する自分なりの考えを説明するためにオープンキャンパスなどで得られた情報をうまく活用できているかどうか、そして自分なりの考えが分かりやすくまとめられているかどうかという観点から評価をします。また、「作成する際の注意点」に従っているかどうかに加え、字数や段落構成、日本語の表現等が適切かどうかという観点からも評価をします。

パソコン等による作成について

「進路探究ノート」と「進路探究レポート」はパソコン等でも作成できます。

その場合、「進路探究ノート」は手書きと同様に、質問をした学生・教員1人につき1枚ずつ作成してください。様式は問いませんが、①何枚目か、②日にち、③回答者の名前・所属・学年など、④テーマ、⑤質問、⑥回答内容、を必ず記載し、1枚に収まるように作成してください。なお、学生や教員に「回答者」欄を記入してもらった「進路探究ノート」の用紙は、①何枚目か、②名前、③学校名、の欄にのみ必要事項を記入し、出願書類と併せて提出してください。

「進路探究レポート」の場合、レポート内容はパソコン等で作成したものを提出し、併せて「進路探究レポート」用紙の太枠内に必要事項を記入したものを提出してください。

各学科テーマ例について

各学科が示したテーマ例を参考にして、自分のテーマ(進路に関わる問い)を設定し、「テーマ」欄に記入してください。

※テーマ例をそのまま使用しても途中で変更してもかまいません。

教育学科

- ・子どもに関わる仕事や国語・英語にかかわる仕事はいろいろあるのに、なぜ保育士・教員になりたいのか？
- ・「幼稚園教諭・保育士」、「小学校教諭」、「中学校・高等学校の国語科教諭」、「中学校・高等学校の英語科教諭」と選択肢は複数あるのに、なぜ「〇〇〇教諭」・「保育士」を選んだのか？

人間福祉学科

- ・なぜ、人と関わる介護や保育、相談支援の仕事につきたいのか？
- ・人間福祉学科で具体的に何を学びたいのか？将来、それをどう生かしていくのか？

心理学科

- ・他の学問にはない、心理学の魅力はなにか？
- ・本学(広島文教大学)の心理学科で学ぶことにより、どんな力が身につくか？
- ・オープンキャンパスの模擬授業を受けて、興味を持って、もっと調べてみたいと思ったテーマや用語はなにか？

人間栄養学科

- ・なぜ、4年制大学で栄養学を専門的に学びたいのか？
- ・なぜ、食と健康の観点から人を支援する仕事に就きたいのか？また、なぜ、管理栄養士の資格取得を目指したいのか？
- ・栄養士や管理栄養士は、実際にどのような職場で、どのような仕事をしているのか？

グローバルコミュニケーション学科

- ・オープンキャンパスに参加して、本学(広島文教大学)のグローバルコミュニケーション学科にどのような特色があり、どのような点が自分に向いていると感じたか？
- ・なぜ、特定の資格を取得するのではなく、一般就職を目指そうと考えたのか？大学四年間で、どのような力を伸ばして、就職に生かしていこうと考えているか？
- ・留学によって、これまでに無いどのような体験ができると考えているか？そのためには、どのような準備や心構えが必要と思うか？